

緊急輸送道路沿道建築物の 耐震化に関する助成について

幹線道路は、大地震発生時に救急救命活動の生命線となり、緊急支援物資の輸送、復旧及び復興の大動脈となるため、主要な幹線道路を緊急輸送道路に指定しています。災害時にこの緊急輸送道路の機能を確保するため、沿道建築物が地震により倒壊して緊急輸送道路を閉塞することがないように、沿道建築物の耐震化を推進しています。

北区では平成 23 年 3 月より建物所有者の負担を軽減するため、沿道建築物の助成制度を開始いたしました。

なお、助成制度をご利用いただくにはその他の要件もあり、事業の契約前に事前相談、区への申請・承諾が必要になりますのでご注意ください。

次のいずれにも該当する建築物が沿道建築物です。

- ア) 敷地が緊急輸送道路に接する建築物
- イ) 昭和 56 年 6 月 1 日以降に新築の工事に着手したものを除く（旧耐震基準）
- ウ) 建築物のそれぞれの部分から緊急輸送道路の境界までの水平距離に、道路幅員の 2 分の 1 に相当する距離を加えたものに相当する高さの建築物

助成内容

	補助率	助成限度額
耐震診断	最大で補助対象費用の 5 分の 4	200 万円
補強設計	補助対象費用の 3 分の 2	200 万円
耐震改修工事	最大で補助対象費用の 3 分の 2	2000 万円から 3000 万円
耐震建替え工事	最大で補助対象費用（耐震改修工事に要する費用相当分以内）の 3 分の 2	2000 万円から 3000 万円

※補助内容について、詳しくは裏面をご覧ください。

問合せ先

【助成金に関すること】
北区まちづくり部建築課
構造・耐震化促進係
区役所第 1 庁舎 7 階 7 番窓口
電話：03-3908-1240

【条例等に関すること】
東京都都市整備局市街地建築部
建築企画課耐震化推進係
電話：03-5388-3362

【耐震化の相談・情報提供に関すること】
（財）東京都防災・建築まちづくりセンター耐震相談室
電話：03-5778-2790

一般沿道建築物の助成率と助成限度額

事業の区分	助成対象事業費	助成対象費用 (助成対象事業費かつ下記限度額以内の額)	助成率と助成限度額	
			助成対象費用	助成率と助成限度額
診断事業	診断に要する費用	限度額は、次による。		
		イ 面積1,000㎡以内の部分は3,670円/㎡以内	214万円以内	助成対象費用の4/5の額
		ロ 面積1,000㎡を超えて2,000㎡以内の部分は1,570円/㎡以内	214万円を超え300万円以内	助成対象費用の1/3に100万円を加えた額
		ハ 面積2,000㎡を超える部分は1,050円/㎡以内	300万円超	200万円
ただし、設計図書の復元、第三者機関の判定等、通常の耐震診断に要する費用以外の費用を要する場合は、1,570,000円を限度として加算することができる。				
設計事業	改修に係る設計に要する費用	限度額は、次のイからハまでの合計額とする。	助成対象費用	助成率と助成限度額
		イ 面積1,000㎡以内の部分は5,000円/㎡以内	300万円以内	助成対象費用の2/3の額
		ロ 面積1,000㎡を超えて2,000㎡以内の部分は3,500円/㎡以内 ハ 面積2,000㎡を超える部分は2,000円/㎡以内	300万円超	200万円
改修事業・建替え事業	【改修事業】 改修に要する費用 【建替事業】 建替えに要する費用かつ従前床面積に面積単価を乗じた額以内	限度額は51,200円/㎡に延べ面積を乗じた額かつ1棟当たり512百万円以内（マンションにあつては50,200円/㎡以内かつ1棟当たり502百万円以内）とする。	延べ面積5,000㎡未満の建築物	
		なお、住宅（マンションを除く。）にあつては上記51,200円を34,100円と読み替える。	助成対象費用の2/3の額とし、助成限度額は2,000万円とする。	
			延べ面積が5,000㎡以上かつ10,000㎡未満の建築物	
			助成対象費用の2/3の額。ただし、延べ面積5,000㎡を超える部分については1/3の額。助成限度額は2,500万円とする。	
			延べ面積10,000㎡以上の建築物	
			助成対象費用の2/3の額。ただし、延べ面積5,000㎡を超える部分については1/3の額、かつ、延べ面積10,000㎡を超える部分については、助成対象外とする。助成限度額は3,000万円とする。	